

【全校応援～甲子園】

横浜スタジアムでの準決勝、決勝、さらには甲子園での応援と、この夏は皆さんと一緒に高校野球の応援をすることができました。横浜スタジアムでの全校応援は桐光学園の夏の行事のようになっていて、毎年子どもたちも楽しみにしています。このように学園の一員として高校野球の応援ができる小学生は今回の甲子園の出場校の中にもほとんどないでしょう。野球だけでなく様々な活動において、中高の先輩たちが大きな舞台上で活躍していることを知り、そしてその活躍ぶりを自分の目で見るができるのはとても素晴らしいことです。身近にいる先輩たちの活躍が、子どもたちのあこがれや夢、そして目標となることも多いでしょう。また、小学生は保護者の皆さんと一緒に応援に参加できることにも大きな意味があります。普段から小学校との距離が近い保護者の皆さんであると思っていますが、こういう機会にさらに学校を身近に感じ、子どもたちのため、そして学校のためにお力を発揮していただけることを大変ありがたく思っています。

甲子園出場が決まったとき、野球部の野呂監督は部員たちに、「甲子園という舞台でみんなが好きな野球をさせてもらうにあたって多くの人たちのお世話になっていることを忘れてはいけない」と話したそうです。生徒たちに、大切なことは何かをしっかりと話していることを知り、私も桐光学園の野球がそういう心に支えられていることを嬉しく思いました。甲子園から帰ってきた監督さんから私に電話があり、「小学校の教職員、児童、保護者の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。皆さんによろしくお伝えください。」とのことでした。秋の大会から続く来春の選抜高校野球への期待も高まることと思いますが、野球部の生徒たちには桐光らしい野球を貫きつつ、高い目標に持って頑張ってもらいたいと思います。どうぞこれからも応援よろしくお願いたします。

さて、今回の甲子園での活躍は小学校の子どもたちに何を伝えてくれたのでしょうか。もちろん松井投手の奪三振の記録は多くの人々の心に残ったでしょう。しかし、その松井投手を支えた捕手、さらには部員たちのことを思わずにはいられません。子どもたちにも、そういうことを忘れないようにしてほしいと思いました。努力することの大切さを子どもたちはよく分かっています。そしてその努力がよい結果につながることもあれば、そうでないことがあることも経験的に知っています。しかし、自分が期待した結果が得られなくても、子どもたちには努力することが素敵なことなのだということを伝えました。

5年ぶりの甲子園出場は子どもたちに素敵な思い出をプレゼントしてくれました。

【補習】

補習という言葉の意味は「学習の不足を補うため、正規の授業時間以外に勉強すること」とあります。しかし、ここにある「勉強する」を「勉強させる」「勉強させられる」と考えてしまう私たち、そして子どもたちが意外に多いのではないのでしょうか。体調が悪くて学校をお休みして、授業に参加できなかった内容を後日学習する。単元の終わりに行う確認プリントや定期試験で理解が不十分なところが見つかったときにその部分を復習する。それ以外にも自分から進んで疑問に思うことを質問する子も多くいます。どの場合もそうですが、決してここでの学びは「させる」「させられる」ものであってはならないでしょう。できるだけ子どもの自発的かつ積極的な取り組みであるようにしていきたいと思えますし、そうしていかなければなりません。

学校では、これまで通り必要と判断される場合に補習を行います。ただし、定期試験後の補習の際、その最後に追試という形式での確認を行っていましたが、この追試については実施しないこととします。それは、追試である程度の点数をとることを目標とするのではなく、そこでの学びの過程を大切にすべきであると考えからです。繰り返しになりますが、子どもたちの自発的かつ積極的な取り組みを大切にしていきます。

【子どもの健康】

運動会に向けて各学年で練習が始まっています。8月末は残暑が厳しく、外での活動には特に気を遣いました。屋内での運動でも熱中症で具合が悪くなることもあるということで、休憩と水分補給が欠かせないことを教員の共通の認識として活動しています。Bグラウンドの人工芝が熱を持ち熱くなることから、水が霧状になってグラウンドにかかるようにするなどの対策もとっています。大きな効果は期待できないかもしれませんが、子どもたちが一時的にでも身体を休める場を作ること大事だと考えます。

猛暑が続く毎日でしたが、9月に入ると同時にときどき雨が降るようになりました。8月の頃のような厳しい暑さではなくなっていますが、まだ油断はできません。学校でも、子どもたちの体調管理には気をつけますが、子どもたちの健康のために大切な食事、睡眠については各家庭で配慮していただかなければなりません。よろしくお願いたします。

・・・朝自分で起きる・家族で朝のあいさつができる・朝ごはんを食べる・身支度を自分でする・「行ってきます・行ってらっしゃい」のやりとりがある・・・など

子どもが元気かどうかを見る基準です。皆さんのご家庭では当たり前の光景でしょうか。